

宮城県 公立高校の入試制度

【2020年度版】

選抜概要

2020年度入試から宮城県の公立高校入試(全日制)は、前期・後期を一本化し第一次募集として実施されます。第一次募集は、原則として調査書・学力検査の結果及び必要に応じて実施する面接、作文の検査結果に基づき全ての受検生に対し、共通選抜と特色選抜の2通りの方法により選抜を行います。

●第一次募集

- 共通選抜…調査書・学力検査の結果に基づき選抜
(募集割合は、募集定員の50~90%)
- 特色選抜…調査書・学力検査の結果および面接等の結果に基づき選抜
(募集割合は、募集定員の10~50%)

※ただし、共通・特別ともに体育・美術に関する学科は10~90%。

	出願期間	入試日	合格発表日
第一次募集	2/17(月)~20(木)	3/4(水)	3/16(月)
第二次募集	3/17(火)~19(木)	3/23(月)	3/23(月)・3/24(火)

●出願は、原則1校1課程、学科・コースに限ります。

ただし、複数の学科・コースを設置する学校の場合、同一高校の他の学科・コースを第2志望とすることも出来ます。

また、第二次募集は、第一次募集の合格発表時点で募集定員が満たされていない学校の課程、学科・コースで実施されます。

共通選抜

●共通選抜は、調査書と学力検査の結果を基に選抜を行います。
調査書の点数と、学力検査については以下のように扱われます。

●選抜資料

①学力検査	国語・数学・英語・理科・社会の5科(各50分・各100点)
②調査書	「各教科の学習の記録」の9科の評定(3年間分) (3年間の5教科〔国・数・英・理・社〕の評定値の合計) + (3年間の4教科〔音・美・保健体育及び技・家〕の評定値の合計×2) = 195点
③ただし、	体育及び美術に関する学科では、実技の評価を選抜資料に加えることが可能。

・調査書点と学力検査点の比重は、各高校が募集単位ごとに下の図の割合から定めます。

比 重	調査書重視		同等	学力検査重視	
調査書：学力検査	7：3	6：4	5：5	4：6	3：7

特色選抜

●特色選抜は、調査書と学力検査の結果および、それぞれの特色に応じた面接・実技・作文等の結果を基に選抜を行います。

調査書の点数、学力検査等については以下のように扱われます。

●選抜資料

①学力検査	国語・数学・英語・理科・社会の5科（各50分・各100点） ・各教科の得点を、募集単位・教科ごとに各学校が定めた倍率により算出し合計点とする。倍率は0.25～2.0まで。
②学校独自検査	面接等の検査を各学校の裁量で実施 ・体育，美術科は実技の場合もある。
③調査書	「各教科の学習の記録」の9科の評定 ・各教科・各学年の評定を、募集単位・教科ごとに各学校が定めた倍率により算出する。倍率は、5教科[国・数・英・理・社]は0.25～2.0，4教科[音・美・保健体育及び技・家]については0.5～4.0まで。

選抜方法

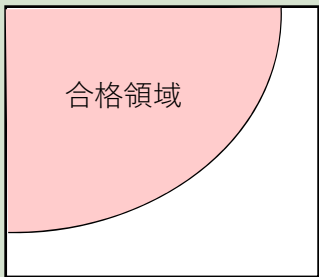
●合否判定は、共通選抜と特色選抜でそれぞれ方法が異なります。

・共通選抜…調査書と学力検査の相関図を用いた方式。

両方の満点により近い上位の者から審査。

・特色選抜…選抜資料の加点方式。

合計点が上位の者から特色選抜人数の120～200%の範囲が審査対象。

	共通選抜（相関図方式）	特色選抜（加点方式）
選抜の詳細	<p style="text-align: center;">高 調査書点 低</p> 	<p style="text-align: center;">学力検査 + 学校独自検査 + 調査書</p>
判定	調査書点と学力検査点の相関図を用い、調査書の記載事項も用いて選抜。	上記の3つの点数を合計し、点数の高い生徒から審査対象となる。

●受検者は共通選抜と特色選抜，両方での判定が行われます。受検者がどちらかの選抜を選択する必要はありません。また，共通・特色の選抜を行う順番は各学校により決定されます。